

日時：平成 23 年 8 月 31 日 (水) 11:00~11:40

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者約 25 名 (カメラ 3 台)

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- ・ 福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ (8 月 31 日 6:00 現在)

よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. 2 号機圧力容器ベローシール部の温度が数日前に急上昇し、その後も緩やかに上昇している。先日の説明では計器不良が原因ではないかとのことだったが、その後分かったことはあるか。

A. 圧力容器ベローシール部の温度のみが上昇している傾向に変化はなく、その他のパラメータについてはほとんど変化がない状態である。従ってベローシール部計器単体の故障ではないかと考えている。

Q. 今後計器を取り替える予定はあるか。

A. 現時点で点検等をする予定はない。

Q. ベローシール部以外の部分については、ほとんど変化がないとのことだが、若干でも上昇傾向にあるのか。

A. ごくわずかな上がり下がりほどのパラメータでも見られるが、今回のベローシール部のように約 50℃ というレベルでの温度上昇はない。

Q. 3 号機炉内の注水方法を明日から炉心スプレイ系に切り替えるとのことだが、注水ラインが炉心スプレイ系に完全に切り替わるのにどの程度の日数かかるのか。

A. 9 日間の予定で考えている。現在給水系からの注水量は 7 m³/h であるが、明日炉心スプレイ系注水ラインの準備が整えば、炉心スプレイ系から 1 m³/h 注水を行い、24 時間経過を観察する。その後 1 日ごとに 1 m³/h づつ流量を増やし、最終的には給水系から 7 m³/h、炉心スプレイ系から 3 m³/h まで注水量を増やし 2 日間様子を見る予定。その後炉心スプレイ系から 3 m³/h の注水量を維持しつつ、給水系からの注水量を 4 日かけて 7 m³/h から 4 m³/h に下げていく。さらに給水系を絞るかどうかは、経過を観察しながら判断することになる。現時点では、全ての注水を炉心スプレイ系に切り替えるという結論には至っていない。

Q. 3 号機炉内の温度が下げれば、全量炉心スプレイ系からの注水に切り替えるのか。

A. 3号機タービン建屋の溜まり水の水位をなるべく下げたいと考えており、炉内の冷却の状況が順調に進めば、注水量は下げられると考えている。2号機は、3.6~3.8m³/hの注水量で炉内の冷却ができており、3号機は2号機に比べ効率的に冷却できていない状態と考えている。崩壊熱の状況からすると3号機も2号機程度まで流量を絞れると考えており、そうなればタービン建屋の溜まり水の水位を下げられるのではないかと考えている。

Q. 4号機使用済燃料プールのホースから水が漏れた原因が「腐食」と断定されたことで、3号機炉心スプレイ系のホースの接続工事ができると判断したのはどのような理由からか。

A. 4号機使用済燃料プールのホース腐食の原因は、プール水にある不純物と考えられる。3号機に注水する水は淡水であり、そのような不純物による腐食の影響はないと考えているため使用済燃料プールと同様のホースを使用しても問題ないと判断したものの。

Q. 3号機炉心スプレイ系に接続するホースには何も対策を施していないということか。

A. 使用済燃料プールと同様のステンレス製のフレキシブルホースを使用することになるが、口径の違いについては確認する。

Q. 福島第二原子力発電所4号機のダストサンプリング結果についてセシウムを持ち込んだとの説明があったが、作業員に付着していたものが扉の解放時に飛散したということか。

A. 福島第二原子力発電所は現在通常の換気空調系で建屋の換気を行っており、基本的には、外気を吸い込んでフィルターを通して排気筒から放出している。従って原子炉建屋の中に外気にある放射性物質を微量ながら吸い込んでいる可能性がある。今回格納容器を開けた際に、床面や衣類に付着していた放射性物質が人の通行によって持ち込まれた可能性はあると考えている。

Q. 水処理設備のポンプ不具合等の原因究明と今後の対策について、本日保安院に提出することになっていると思うが、公表の目処はあるのか。

A. 最終的な取りまとめを行っており、保安院への提出が間に合えば夕方の会見でお知らせできるのではないかと考えている。

Q. 5, 6号機側の仮設タンクの水位が上がってきているが、低濃度の滞留水が敷地内にどの程度あるのか。また現時点の仮設タンクはどの程度設置されていて、今後の設置計画はどのような状況か。

A. 5, 6号機北側の仮設タンクは、12,200m³の水が受け入れ可能であり、現在移送を行っている。その他メガフロートに10,000m³の容量があり現在7~8割の水が溜まっている。また水処理設備の処理水を受けるタンクとして毎月20,000m³ずつ増設が進んでおり予定通りに進捗している。一方進捗が遅れているのは高濃度汚染水を受け入れるタンクであり、2,800m³分のタンクの設置工事は終わっているがその後のタンクについては工事中である。高濃度汚染水を受け入れるタンクは、タービン建屋の溜まり水が溢れる危険がある際や水処理設備が順調に稼働しない場合に一時的に受け入れるタンクであるため、今後水処理設備の稼働状況を踏まえ工事工程を管理したい。

Q. 低濃度汚染水は5, 6号機側の地下に溜まっている滞留水と水処理設備で処理した水が全てという認識で良いか。また5, 6号機北側のタンクの水位が上がっているが、今後南側のタンクに移す予定はあるのか。

A. 5, 6号機北側に貯めている水は、分類的には低濃度の汚染水だが、地下水がタービン建屋に流れ込んでいるものであり、濃度は低い。タンク内の水量は7~8割程度であるが、今後の処理については関係箇所と相談しながら方法を検討しているところ。また南側のタンクは水処理設備で処理した水を移送している、放射線物質の濃度としては $10^0 \sim 10^1$ 程度であり、プラント内で再使用することを考えている。蒸発濃縮から出てくる濃縮塩水については発電所内の専用タンクに貯めている。

Q. 双葉断層はあくまで逆断層として評価しているということか。

A. その通り。

Q. 北側については、地震本部は促進傾向と評価しているが、それとは矛盾しないのか。

A. 今回の評価では東西方向に伸びているという傾向と、ACFSとしても抑制傾向としているので、今後、保安院、学識経験者にこの報告書の評価を伺えればと思う。

Q. 3号機炉心スプレイ系で使用するホースは変更しないという理解でよいか。

A. カナフレックスや鋼管にはせず、従来用意していたフレキシブルホースを使っても問題ないと判断した。

Q. 3号機炉心スプレイ系にフレキシブルホースを使用することについて、問題ないとしたのはどういう判断基準か。

A. 流れる水が淡水であり問題ないと判断している。4号機使用済燃料プールSFPの循環配管については不純物が混入していることから、今後長期間冷却を継続するためには何らかの対策が必要ではないかと考えている。

Q. これまでに、今回の方以外に白血病の発症された方は確認されていないのか。

A. 今回の方以外、そのような報告は受けていない。

Q. 作業とは関連はないと思われるが、作業起因が連想されることから公表したとのことだが、今後もその方針は継続する予定なのか。

A. プライベートな状況下での発病であるため、基本的には公表しない方針だが、今回の例、また心筋梗塞の例もあることからケースバイケースで判断していきたい。

Q. 福島第一原子力発電所のライブカメラに写り込んでいた人の件だが、当該発電所の作業員は今現在何人なのか。

A. 福島第一原子力発電所の復旧作業にあたっている人は多いときには約3,000人。この中には福島第二原子力発電所の安定化センターに詰めているものも含まれている。

Q. その中で協力企業と東電社員の内訳は。

A. 昨日でいうと協力企業の方が2,800人で、残りが東電社員。

Q. 福島第一原子力発電所のライブカメラに写り込んでいた人の件について、今後調査するまでもないという判断とのことだが、その背景を教えてください。

A. まず、人物を特定するには手段が限られ、調査が難しいこと。また、危険性が高いというわけではないが、不用意な被ばくになることから、作業員の方への周知は実施していきたい。これまで2回ほど確認されているが、たびたび起こるようであれば何らかの対策を行う必要があると考えている。

Q. ベータ線の被ばくの関連。当該社員への指導を行うとのことだったが、他の社員への改めての周知徹底は行っているのか。

A. APDの警報が鳴る手前で作業の片付けに入り待避するよう周知徹底している。なお、蒸発濃縮1Bが停止しているが、改めてフィルタ交換作業の手順を検討している段階であり、作業自体は再開していない。

Q. 改めてのお願いとはどのような方法で行っているのか。

A. 社員へはミーティング等で実施しており、今後、協力企業向けにおいては企業協議推進委員会を通じて周知させていただく。

Q. 被ばくへの危機意識が薄れているように思うのできっちりと対応していただきたい。

A. そのようにさせていただく。いずれにしても、作業前点検等の場でAPDの警報が鳴った時の措置について再度徹底していきたい。もう少しで作業が終わるという時に起こりがちであるので、改めて周知徹底してまいりたい。

以上